

# 家具・インテリアデザイン

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：実 習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：建築の内部空間を構成する家具・インテリアデザインについて理解を深めます。本科目では、建築の基本的な計画（平面計画・断面計画・採光／照明計画など）に基づいて、家具の使用目的・配置、使用者の行為・動線、材料の特性などを理解した上で、オリジナル家具をデザイン・制作し、図面と制作物による講評をします。特に、建築計画を基盤として、人間工学の理解と生活行為の分析を通して適切なデザイン提案ができることを重視し、使用目的に合わせた素材選びや形態デザインなどと、その作図法について個別指導をおこないます。なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目（その他）です。

■**到達目標**：①建築の基本的な計画（平面・断面・採光／照明計画など）と家具の関係を理解する。  
②建築の内部空間、家具の使用目的・配置、使用者の行為・動線、材料の特性などを理解した上で、独自の着想に基づき家具をデザイン・制作し、図面と制作物による発表ができる。  
③人の行動や知覚等を考慮してインテリアや家具の使用材料や構法を考えることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎片山 めぐみ・中村 昇・岸本 幸雄

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 概論：世界の建築と家具・インテリアデザイン
- 第 2 回 建築の基本的な計画と家具・インテリアに係わる人間工学
- 第 3 回 建築・家具のデザイン1（コンセプト、作図法）
- 第 4 回 建築・家具のデザイン2（寸法体系、作図法）
- 第 5 回 建築・家具のデザイン3（寸法体系、作図法）
- 第 6 回 建築・家具のデザイン4（詳細設計）
- 第 7 回 建築・家具の図面表現（三面図、パース表現など）
- 第 8 回 建築・家具の図面表現（三面図、パース表現など）
- 第 9 回 制作1（図面・家具）
- 第10回 制作2（図面・家具）
- 第11回 制作3（図面・家具）
- 第12回 制作4（図面・家具）
- 第13回 制作5（図面・家具）
- 第14回 制作6（図面・家具）
- 第15回 講評会：建築・家具の図面・制作物の発表

■**教科書**：必要に応じて印刷物を配布する。

■**参考文献**：授業時に参考図書を紹介する。

■**成績評価基準と方法**：授業態度およびオリジナル家具の成果物により評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	積極的に参加すること	20
課題・作品	◎	◎	◎	制作の意図と制作物の内容が吟味されていること	80
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：材料加工理論／実習I、建築設計製図、建築計画論など。

建築の内部空間、インテリアデザインおよび家具におけるスタディと表現を的確に行なうために、本授業の履修を希望する学生は、建築設計製図（2年次前期）を履修していることが望ましい。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：特に関連科目としてはあげていませんが、様々なデザインの歴史、現在のデザインの動向などを積極的に各自で情報収集することを心掛けてください。オリジナル家具制作の材料費として4,000円程度が必要となります。